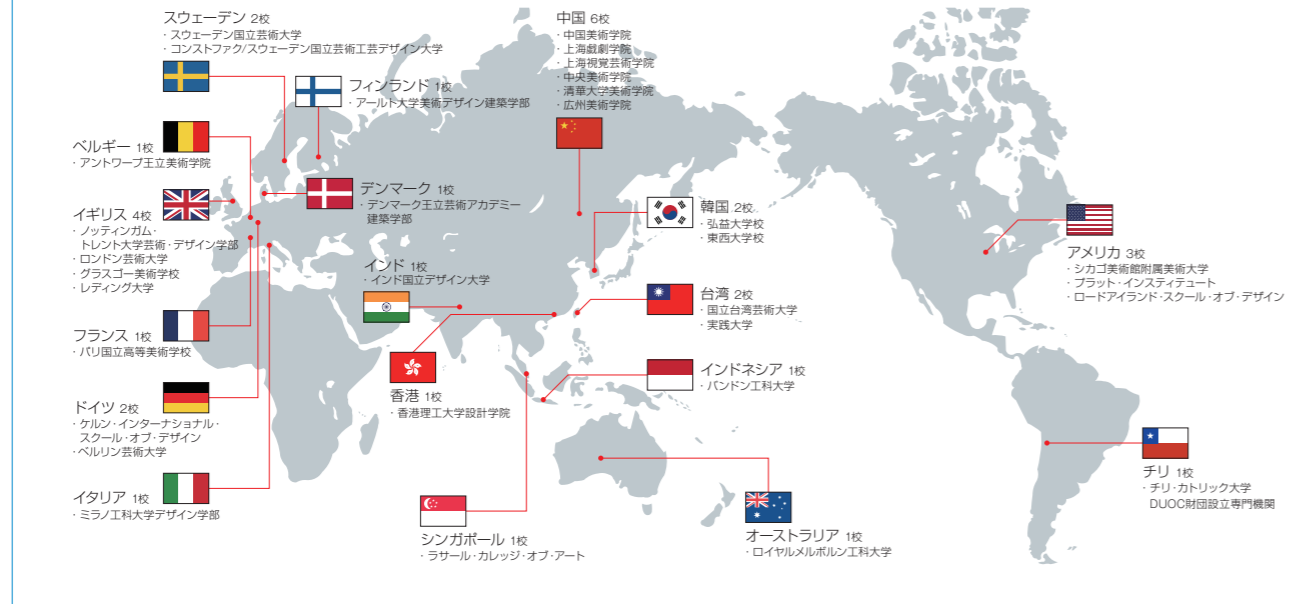


武蔵野美術大学の国際交流協定校 18の国と地域 32大学



経済社会の発展と
牽引するグローバル人材
育成支援

武蔵野美術大学

MUSASHINO ART UNIVERSITY

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736 国際センター TEL. 042-342-6041
http://www.musabi.ac.jp/



国境や言語の壁を超えるのが美術
創立当初から備わる国際性

美術・デザインの分野を網羅した日本最大級の美術系大学として、我が国をリードする武蔵野美術大学。前身である帝国美術学校（1929年創立）の時代から、外国人留学生を積極的に受け入れてきたことでも知られる。そんな武蔵野美術大学が取り組むグローバル教育とは、どのようなものなのだろうか。「そもそも、芸術とは国を越えるもの。絵画やデザインなど、美大が扱う分野には、言語を超えて理解し合えるという特徴があります」

そう語るのは、同学のグローバル教育を牽引してきた長澤忠徳学長だ。「ただし、作品を制作した意図を解説したり質問したりするためには、語学力が必要です。そこで本学が充実をはかっているのが、英語をはじめとする語学教育。さらに、国際交流プロジェクトや海外からの訪問教授制度など、国際的な環境に接する機会を豊富に用意しています」



「美大という存在も、教育内容もグローバル」と語る長澤忠徳学長。

美大にもともとある国際的な環境が
グローバル人材育成における強みに
多様な資質の学生を受け入れ、さらに発展を。



海外の教育機関と連携して実施する「国際交流プロジェクト」。(チェコのトマスバタ大学との工芸交流プロジェクト)

1990年に制度化された訪問教授制度は、今では毎年20名の教授を迎えるほどに。日本に居ながらにして世界の最新の動向を知り、第一線で活躍する専門家の指導を受けることができる。

また、長期の休みなどを利用して、海外の大学などで開催される国際交流プロジェクトに参加する学生も多いという。

「海外の大学で学びたいという学生も多く、留学制度の拡充も進めているところだ。また、各国で活躍する卒業生による「アラムナイ・グローバル・サポーター」制度を整備しており、協力体制も万全です」

美大の学びは「課題発見型」
アクティブラーニングが伝統

「美大に入学するには実技が必要」「美大生はずっと絵を描いている」そんな先入観はないだろうか。実は美大の入試は多様化しており、小論文や数学、英語などを選択し、実技科目を受験せずに入学する学生は、入学者の約2割にのぼるといえる。またファイナート系（絵画や彫刻）を専攻する学生は全体の2割ほど。デザイン、建築、映像、芸術文化など、11学科もの学びが用意されている。全学科に共通しているのは、プレゼンテーションを繰り返して作品

を完成させる、アクティブラーニング型の学びが実施されていることだ。「近年になってアクティブラーニングが注目されていますが、美大では何十年も前から、こうした課題発見型の授業を実施しています」

中でも独特なのが、異なる言語や文化背景を持つ学生や留学生が集い、課題に取り組む「インタラクティブ・イノベーション」。長澤学長が手がける全て英語の授業の一つだ。「英語が得意な学生、それほどでもない学生、英語はできるが日本語はできない交換留学生など、一人ひとりの「差異」がテーマの授業です。考え方の違いを受け入れながら新しい価値 (Value) を発見していく面白さがあります。留学を考えている学生に、特に評判がいい授業です」

海外で活躍する卒業生も多い同学だが、これからの日本で大切なのは

「国内のグローバル化」だ、と長澤学長は強調する。「グローバルな素養を持つことは大切ですが、そうした人材が全て世界に出て行ってしまつては日本の成長は見込めません。日本を拠点に世界と渡り合い、多様なつながりをプロデュースする人材を育成したいと考えています」

美大で培った能力は、社会の
あらゆる分野で強みになる

「美大生は、就職が難しいのでは」と心配する声をよく聞きます。しかし私は、美大で教育を受けた学生ほど「応用のきく」人材はいないと思いません。人文系の大学に相当する教養と、美術・デザインに関する素養、そしてアクティブラーニングで培われた全人的な能力、これら全てを兼ね備えているからです」

もちろんアーティストや作家、教員などを目指す学生もいるが、実際に多くの学生が企業の企画部門やデザイン部門、広告会社、出版社、編集やデザイン制作などを手がける会社に就職する。これらの職場で求められるのは、プレゼンテーション能力やマネジメント能力を駆使しながら、新しい価値を生み出す力だ。

「デザインは企業にとってトップシークレットですから、そこに携わる仕事をすることは企業の経営者など、決定権を持つ人物と折衝することができます。いわゆる「出世の階段」を飛び越えて、責任の重い仕事に携わることができるはずですよ」

他の誰とも違う視点と、これからの社会で活躍する力、両方が身につく武蔵野美術大学のグローバル教育。さまざまな資質を持った学生に、その門戸は開かれている。

NEW CHALLENGE

得意な科目、高校時代の活動……
さまざまな資質を問う入試を実施

アートやデザインなどの文化の発展には、多様な専門性を持った人材が不可欠といえる。そこで武蔵野美術大学では、受験生の特性に合わせたさまざまな入試方式を用意。例えば建築学科や芸術文化学科などの5学科では、センター試験の指定科目のみでの受験が可能だ。また公募制推薦入試では、クラブやコンクール、地域での活動など高校時代の経験をアピールすることができる。さらに、映像学科やデザイン情報学科などの4学科では、英語力を重視した公募制推薦入試を実施している。



■大学DATA
【学部】造形学部：日本画学科/油絵学科（油絵専攻、版画専攻）/彫刻学科/視覚伝達デザイン学科/工芸工業デザイン学科/空間演出デザイン学科/建築学科/基礎デザイン学科/映像学科/芸術文化学科/デザイン情報学科（1学部11学科） 造形学部通信教育課程
【大学院研究科】
大学院造形研究科：修士課程/博士後期課程
【学生数】
7,000人（2015年5月1日/通信教育課程・大学院を含む）

北海道東北

関東・甲信越

東海・北陸

近畿

中国・四国

九州

国立

公立

私立